

C 病棟

(消化器内科外科・整形外科：一般急性期病棟)

病棟の特徴

C 病棟は、消化器外科、整形外科の周術期患者さんをメインに受け入れる急性期一般病棟です。外科系急性期看護の中核として、手術前後のきめ細やかな医療管理と、早期離床・早期退院に向けた支援を多職種連携で展開しています。また、消化器内科、一般内科の急性期患者さんの受け入れも行っており、幅広い疾患・治療に対する実践的な看護を学ぶことができる環境です。スピード感と高度な安全管理が求められる現場ですが、だからこそ緊張感と大きなやりがいを感じられる看護を日々追求しています。



看護体制

プライマリー看護師を中心としたチームナースングを実践し、患者さん一人ひとりの入院から退院までの経過に寄り添う継続的な看護を大切にしています。経験豊富なリーダー看護師が多数在籍しており、日々のカンファレンスでの情報共有を徹底することで、質の高い安全な看護を提供しています。相談しやすい風土と抜群のチームワークが自慢で、これが C 病棟の働きやすさの基盤です。また、多数のママさん看護師が活躍しており、子育てとの両立を理解し、お互いに支え合う環境が整備されています。

教育体制

スタッフ全員の継続的な学びと成長を支援するため、教育体制を充実させています。院内の S-QUE 研修（医療安全・質改善）や各種専門勉強会、他部署のインシデント共有などを積極的に取り入れ、看護実践の質と安全への意識を高めています。またリーダーシップ研修や KYT（危険予知トレーニング）を通じて、急性期病棟に求められるリーダー遂行能力と高度な安全管理能力の向上に努めています。定期的な面談と細やかな声かけによるメンタルフォローも行い、新人や中途入職者も安心して、着実にステップアップできる体制を整えています。



取り組み

- **効率化と安全性の追求（5S活動）**：スタッフ全員で5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を継続的に行い、業務効率化と、看護師が気持ちよく働ける職場づくりを常に推進しています。
- **質の高い退院支援とケア**：多職種との合同カンファレンスや勉強会を通じた活発な意見交換により、退院支援の質の向上と、根拠に基づいた看護ケアの実践に努めています。
- **患者さんの尊厳を守る看護**：抑制軽減や認知症ケアにも積極的に取り組み、医療環境の変化に対応できる知識・スキルの底上げを継続し、患者さんの尊厳を守る看護を実践しています。

アピールポイント

- **外科・内科を幅広く学べる**：周術期ケアと急性期内科の多様な知識・スキルを習得でき、看護師としての総合力が向上します。
- **「安心」のチーム体制**：経験豊富なリーダーと抜群のチームワークにより、多忙な急性期でも相談しやすく、安心して質の高い看護を実践できます。
- **仕事もプライベートも充実**：入退院が多い急性期病棟ですが、効率的な業務運営により、プライベートの充実度が高いのがC病棟の大きな魅力です。
- **自分らしく働く**：子育て中のスタッフや、「推し活」など趣味を大切にするスタッフが多く、お互いの生活を尊重し、自分らしくイキイキと働ける環境です。

「急性期看護で成長したい。でも、仕事以外の時間も大切にしたい」というあなたの希望を、

C病棟で実現しませんか？見学・面接お待ちしております。